

## あとがき

野崎次郎

第22回関西フランス語教育研究会(ランコントル)は、2008年3月28日(金)、29日(土)の両日にわたって大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズで開催され、144名もの参加者を得て、滞りなく終えることができました。これもひとえに、Animateursの方々、参加者の方々、出版社・書店、関係諸機関の方々のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

今年度は、「言語能力別アプローチと授業運営」と「学びを学ぶ—学習者と教師が共にめざすもの」という主要テーマとテーマ外のアトリエが合計25、出版社・書店のプレゼンが6も設定され、熱く興味深い議論が交わされました。

さらに、恒例化したシンポジウムとして、「日本人教師とフランス人教師の連携授業をどう進めるか」というテーマで、日本人とフランス人の現場の経験を交えながら、うまくいっている点、うまくいっていない点を報告し合い、打開策を討論できました。いまやネーティブを交えたフランス語教育が日本のほとんどの大学で進んでいる現状では、避けて通れないテーマであったと自負しています。

また、フランスからの出版社・書店のプレゼン、フランスの諸機関の積極的参加という点もここ数年来の特徴となってきていますが、Madame Valérie LEMEUNIER (CIEP) の講演とアトリエという豪華なプログラムも用意できました。

来年度からは、1日目のお昼の時間帯に設定されていて、やや不便な思いを我慢していただいた出版社・書店のプレゼンを、今までのアトリエの時間割の中に組み入れようという意見も出され、その方向で調整がすすんでいます。ランコントルは今後もさまざまに発展していきますので、どうぞご支援ください。

第22号となる本論集には、15本の論文が寄せられました。七夕にちなみ、7月7日を発行日としていますが、お手元に届くのは、諸般の事情で7月下旬頃となるかと思えます。暑さにめげず、熱い論文で、夏のヴァカンスを満喫していただければ幸せです。

私たちはもうすでに RPK 2009 の準備に入っています。3名の新人が運営委員に加わり、若返りがすすんでいます。ホームページも随時、更新しております。新たな力となり得る新人の積極的な参加を期待しています。日本におけるフランス語教育に栄光あれ！